

平成20年度実施分 松戸市市民活動助成事業採択候補一覧

※優先順位の順

順位	団体名	事業名	助成金額	審査結果意見
1	松戸里やま応援団 四季の会	ホダシの森 保全育成事業	100,000	
2	まつど版サポート資源 提供システム創る会	人材バンク「まつどの先生」 プログラム事業	100,000	
3	特定非営利活動法人 ワーカーズコープ千葉事務所	多世代交流の場としての子供 の居場所づくり事業	100,000	【助成金交付の条件】 施設使用料、消耗品などの支出内容を明確にすること。
4	「まつど子育て・孫育てガイド ブック」編集プロジェクト	まつど子育て・孫育て ガイドブック作成事業	100,000	
5	しごとサポート ゆうかり	働きたい女性の就労支援 ～家族で出来る協力体制を考えよう～	100,000	【助成金交付の条件】 講演会謝礼金については、効率的な支出をすること。

(第6条関係)

事業計画書

<p>1. 事業の目的と効果 課題の現状</p>	<p>1、森の二方が公道に面しており、人通りも少ない所から大小のゴミが森の奥深くまで捨てられ散乱していた。</p> <p>2、先ずは土中に埋まっているゴミなどの清掃作業から初め、生い茂るアヅマネザサの処理と、残っている倒壊の恐れのある枯れ木の伐採、更に地権者とも相談の上、もっと明るい日の差し込む森にして多様な植物の生育を促したい。</p> <p>3、森に手を入れる事によって近隣在住の人達との交流を、森を通じて進め、子供らの自然に対する親しみの念をかもし出すような、自然との触れ合いが出来る森にしたい。</p>
<p>2. 申請理由</p>	<p>1、上記の目的を達成する為に、一人一人のメンバーの時間と労力を提供して活動をしているが、現在の会費だけでは広報のための消耗品費、森の周囲にごみ捨て無用のくい打ちとロープ張りなど、費用の捻出が全く出来ない状態です。</p> <p>2、里やま整備の手始めとして、その様な経費の助成をお願いします。</p>
<p>3. 事業の内容、 実施方法、 スケジュール</p>	<p>森の自然環境を整備し、地域住民の憩いの場を提供する。</p> <p>実施方法</p> <p>1) 現在、月に二回の定例の活動日を設け森の整備を行う。</p> <p>2) 他のグループとの連携を強化しながら、ホダシの森のあるべき姿を具体化させて行きたい。 森の樹木調査、植生調査など、地道な活動を通じて森の将来像を模索する。</p> <p>3) 各種の技能講習会、勉強会、知識を得るための観察会などに参加して森の保全能力向上を図る。</p> <p>スケジュール</p> <p>1) 07年下期 森の樹木調査、植生調査と森の整備（伐採、枝落とし、刈払い）</p> <p>2) 08年上期 森の整備（伐採、枝落とし、刈払い）、樹木の植生</p> <p>3) 08年下期 森の整備（地権者と相談の上生木の選別と間伐作業）</p>
<p>4. 事業の成果と 将来展望</p>	<p>1、現在の雑然とした藪同然の森が我々の手の入る事によって生まれ変わり、明るく多様な植物、生物の生育する、憩いの森として再生される。</p> <p>2、近隣小学校との連携の下、子供らの自然に対する親しみを増すような、森の中で行える企画（木工、竹細工、木の実の飾り物など）を実施してゆく。</p> <p>3、森の回廊の一部として、小鳥の集まる環境を作る。</p>

第6条関係)

事業の予算計画書

【収入】

申請者	(自己資金)	金額	積算内訳
	会費 花フェスタ売り上げ	50,500円	年会費 $1500 \times 17 = 25,500$ 花フェスタ売り上げ 25,000
	自己資金合計 (a)	50,500円	
市	助成金申請額 (b)	100,000円	
	収入合計 (c) (a+b)	150,500円	

【助成金申請額 (b) チェック項目】

1. 対象となる経費 (d) 欄の 90%以内
2. 1事業あたり 10万円以内

【支出】

交付対象経費	項目	金額	積算内訳
		杭、ロープ、等材料費	74,000円
	広報活動費	20,000円	印刷用紙/カーインク等= $\yen 20000$
	消耗品費	25,000円	文具費： $\yen 5,000$ 梱包材料費(紐、板等) $\yen 10,000$ 清掃用具(箒、熊手等) $\yen 10,000$
	対象となる経費合計額 (d)	119,000円	
その他	スタッフ飲食費用	20,000円	慰労会： $10,000 \times 2$ 回
	会員の交通費、通信費等	11,500円	封筒、切手、葉書等 @ $80 \times 100 = 8000$ @ $50 \times 70 = \yen 3500$
	その他経費合計額 (e)	31,500円	
	事業費 (f) (d+e)	150,500円	

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。

事業計画書

<p>1. 事業の目的と効果 課題の現状</p>	<p>現在の教育や学習は、読書推進、食育、ボランティア、そして生涯教育など社会的な教育、学習が重視され始めて様々な場で展開されています。しかしながら、これらの社会的、体験的教育が市民の手による地域に密着した教育、学習になっているとはいえません。一方、松戸市には優れた人材が様々な分野で活動し、とくに団塊の世代の企業戦士が数多く地元に戻ってきていますが、それらの人材を松戸の活性化に十分に活用する機会、場が少ないのが現状です。そこで、地域に密着した社会的、体験的教育、学習の場をつくと同時に、その人材、スキルをつなげることが重要であると考えます。人材バンク「まつどの先生」プログラム（仮称）は、松戸市民による松戸市民のための総合的な体験的な教育、学習の場をつくらうとする試みです。</p> <p>その目的と効果は以下の通りです。</p> <ul style="list-style-type: none"> *市内の市民活動団体、企業、スキルのある個人を活用することで、松戸に密着した社会的、体験的な教育、学習が展開される。 *市民活動団体、企業、スキルのある個人が教育、学習の場に積極的に参加することで、協働のまちづくりへの市民活動がより浸透し、活性化する。
<p>2. 申請理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> *サポート資源提供システム創る会は、市民活動情報ライブラリーの整備、充実を目指しています。人材バンク「まつどの先生」は、その情報ライブラリー活用の先陣としての位置づけをし、「協働のまちづくり」活動への意識・共感を高めます。 *初年度は人材募集の説明会などのイベントの実施及び広報活動を展開し、有用な人材を広く集め、その情報を公開します。人材バンクの質を高め、有効活用されるバンクとするためにも助成金が必要となります。
<p>3. 事業の内容、 実施方法、 スケジュール</p>	<p>個人のスキル、NPO市民団体のノウハウ、企業及び事業者の社会貢献プログラムなどから信頼できる情報を集約し、教育及び学習の現場と結びつける事業です。初年度は人材バンクの基盤づくりに全力を傾け、年度末プレ市民教室開催を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☆具体的な年度実行計画を策定 <4月～5月> ☆イベントの実施（4回）場所：サポートセンター大会議室 ①まつどの先生募集のための説明会（1回）<6月> ②主に人材紹介のためのイベント（2回）<9月・12月> ③プレ市民教室の開催（1回）<3月>※NPO見本市での開催を検討 ☆広報活動 同事業の広報及びイベント開催告知<イベント開催前> ☆人材情報の集約 <3月>
<p>4. 事業の成果と 将来展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> *企業、事業者との連携を目指すサポート資源提供システムの中で、市民活動情報ライブラリーの「まつどの先生」編として、さらに幅広いネットワークで運営展開されることが期待されます。 *小中学校への出張教室、生涯教育、その他各種体験教室など、常設「まつど市民教室」の運営展開することを目指します。

(第6条関係)

事業の予算計画書

【収入】

申請者	(自己資金) 会費収入	金額	積算内訳
			180,080円
	自己資金合計(a)	180,080円	
市	助成金申請額(b)	100,000円	
	収入合計(c)(a+b)	280,080円	

【助成金申請額(b)チェック項目】

1. 対象となる経費(d)欄の90%以内
2. 1事業あたり10万円以内

【支出】

交付対象経費	項目	金額	積算内訳
	諸謝金		80,000円
広報チラシの印刷費		80,000円	@20×1千部×4回
チラシ作成委託料		10,000円	
人材情報ガイド作成委託料		30,000円	
会場使用料		10,080円	サポートセンター 大会議室@630×4h×4回
	対象となる経費合計額(d)	210,080円	
その他	スタッフの交通通信費	24,000円	@1,000×3名×8回
	スタッフの事業活動報酬	36,000円	@500×3h×3名×8回
	諸雑費	10,000円	
	その他経費合計額(e)	70,000円	
	事業費(f)(d+e)	280,080円	

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。

事業計画書

<p>1. 事業の目的と効果 課題の現状</p>	<p><目的></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域の子供たちの居場所の提供 ・ 敷地内の豊かな環境を生かした、子供たちへの自然とのふれあいの場の提供 ・ 同じ建物内のデイサービスとの連携による、多世代交流の場の提供 ・ それらを通じた地域の子供たちの健全育成への寄与 <p><効果></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域で子供たちを見守り、育てていく環境を作る <p><現状></p> <p>私たちの事務所が置かれているデイサービスの敷地内には広い庭があり、いつしか近所の子供たち（～小学校低学年）が来て自由に遊ぶようになりました。子どもらにとっては自然の木に登れることや、竹を使った遊び道具などは新鮮に映るようです。また、夏休み時には昼間から来てデイサービスの中にも入り、利用者の高齢者と接することで、お互いにより刺激になっていたようです。</p> <p>このようなことになった原因としては、共働きの増加に代表される家庭環境の変化に加え、地域に自由に遊べる場所がないこともあると考えています。また、新興住宅地と古くからの住宅が混在した地域であり、お互いの交流があまりないことから、高齢者と子供が接する機会が極端に少ないことも一因ではないかと思えます。</p> <p>事実、やってくる子供たちのほとんどは祖父母とは別居しており、遠くにいる事から日常的に接する機会がないようです。デイサービスでの利用者とのかかわり方を見ても、普段は高齢者とは接していないことがうかがわれます。また、両親が共働きで帰宅が夜8時以降になることもありながら、鍵も持たされていない為に時間まで友人の家を転々とするしかないような子供がいるような状況があります。</p>
<p>2. 申請理由</p>	<p>自由に子供たちが来るようになったことでデイサービス職員の目が行き届かないことが増えてきました。また、デイサービスの休日や夜間には施設内には入れないため、学校の休日である土曜には利用ができず、ニーズに応えられない事態になっています。そこで近隣の小さなお子様を持つ親の方々とも話し合い、建物の空き部屋と庭を活用した子供の居場所づくりを考えました。また、デイサービスの利用者を中心とした高齢者と子供との多世代交流の場としても活用していきたいと考えています。</p> <p>私たちワーカーズコープは全国各地で地域住民と協力して事業を立ち上げてきました。また、自治体からの指定管理者制度などによる委託を受け、学童クラブや児童館、保育園などでの子育て事業を行ってきた実績があります。</p> <p>この度の金ヶ作地域での子供の居場所づくりでも、地域の住民やボランティアと連携した立ち上げを目指しております。しかし、事業が軌道に乗るまでは時間がかかることが予想され、一方で部屋の使用料、道具の整備などでそれなりの出費が見込まれることから、今回の市民活動助成金交付制度への申請をすることにいたしました。</p>

	<p>一般的に高齢者施設と子供たちとの交流の場は、イベント等限られたものになってしまうことが多いようです。しかし、お互いに理解しあい、子供たちに高齢者への関心を高めてもらうためには、日常的な接触の場を持つことが肝心ではないかと思えます。単なる子供の居場所としてではなく、地域の多世代交流の拠点となるべく、この事業を進めていきたいと思えます。</p>
<p>3. 事業の内容 実施方法、 スケジュール</p>	<p>〈事業内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 平日 15時～19時、土曜 10時～18時（年末年始等は休業）で実施 ・ 受け入れ人員は最大10人、見守りボランティア2名以上 ・ 室内、庭を自由な遊び場として提供 ・ ボランティアの見守りによる子供たちの安全確保 ・ 土曜日、長期休みを中心に各種教室・講座の開催 ・ 幼児、小学校低学年の児童を中心に事業を行う <p>〈実施方法〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 当団体を中心に、地域の各種団体、住民の参加による実行委員会を結成 ・ 事務局はワークスコープが担うが、いずれは親を中心とした地域住民中心の運営を目指す。 ・ ボランティアは学生から元気高齢者に至るまで広い範囲で募る ・ 町会、PTAなどにも呼びかけ、宣伝などの面で協力をお願いする ・ 適宜地域懇談会を開催し、広い意見を聴いて運営に反映させる ・ 同じ建物内のデイサービスとも頻繁に連絡を取り、協力してもらう ・ 資金については当初は賛助会員を募り、一口千円の賛助金形式で行う。事業の定着度によって子供たちの親による会費制との2本立てに移行する ・ ニュース等を作り、積極的に地域に情報や成果を発信する <p>〈20年度スケジュール〉</p> <p>20年1月 実行委員会結成</p> <p>2月 地域懇談会（説明会を兼ねて開催）</p> <p>3月 宣伝活動・ボランティア募集の開始</p> <p>4月 事業開始</p> <p>7月 七夕祭り</p> <p>10月 地域懇談会</p> <p>12月 クリスマスイベント（コンサートを想定）</p> <p>3月 初年度終了</p>

〈講座・教室〉

- ・ものづくり教室（竹や木を使った工作に挑戦）
 - ・料理教室
 - ・音楽教室
 - ・読み聞かせ教室
 - ・ミニプレイパーク
- などを開催予定

4. 事業の成果と
将来展望

〈見込まれる成果〉

- ・地域で子供たちを見守り、育てる環境を作り上げることができる
- ・子供たちと高齢者の交流を図ることで、高齢者に対する意識を高める
- ・デイサービスの利用者だけでなく、地域の元気高齢者も含めた、高齢者の活性化につながる

〈将来展望〉

1. 地域の多世代交流の拠点としての発展

この事業により、常設的な多世代交流の拠点が生まれることとなります。近所の子供とデイサービスの利用者だけではなく、地域のまだ元気な高齢者の方々にも集まっていただきたいと考えています。

そのために見守りのボランティアとしてのほか、各種講座・教室の講師としても、地域の高齢者の方にかかわっていただく予定です。

2. 子育ての相談拠点として

このような拠点を作ることで、子供を持つ親の方々も集まる機会も増えることが予想されます。そこで親の子育てに関する悩みや相談を、地域の高齢者にできるような拠点到発展させていきたいと思ひます。高齢者の知恵を後の世代に引き継いでいくきっかけになればと思ひています。

3. 当事者がかかわる拠点到

私たちワーカーズコープは、すべての事業において地域の人々や利用者が主体となる運営を目指してきました。今回の事業でも、子供たちの親や、地域の住民の参加を重視し、積極的に運営にかかわっていただくことを考えています。子供を持つ親だけではなく、地域全体が当事者として子供たちの成長を見守っていくようになる、きっかけにしていきたいと思います。

4. 独立した事業にしていくために

この事業が独立して成り立っていくためには、資金面でも地域の人たちの協力が重要となります。当初は実行委員会に参加していただける方からの賛助金が中心になると思いますが、地域懇談会、宣伝活動などを通して積極的に地域の方々に協力を訴えていきます。また、開始当初は利用料に相当するものはとらない方針で考えておりますが、事業の進展と定着度を見ながら年会費制に移行していくことを考えています。

(第6条関係)

事業の予算計画書

【収入】

	(自己資金)	金額	積算内訳
申請者	賛助金	18,000円	@1,000円×18人
	年会費(下期からを想定)	90,000円	@6,000円×15人
	自己資金合計(a)	108,000円	
市	助成金申請額(b)	100,000円	
	収入合計(c)(a+b)	208,000円	

【助成金申請額(b)チェック項目】

1. 対象となる経費(d)欄の90%以内
2. 1事業あたり10万円以内

【支出】

	項目	金額	積算内訳
交付対象経費	施設使用料	36,000円	3,000円×12か月
	消耗品費	60,000円	5,000円×12か月
	通信費	12,000円	1,000円×12か月
	印刷費	25,000円	5,000部×5円
	保険料	55,000円	傷害保険
	対象となる経費合計額(d)	188,000円	
その他	スタッフ交通費ほか	10,000円	
	雑費	10,000円	
	その他経費合計額(e)	20,000円	
	事業費(f)(d+e)	208,000円	

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。

事業計画書

4

<p>1. 事業の目的と効果 課題の現状</p>	<p>松戸市は人口 46 万の中核都市であり、首都圏近郊にあるため通勤族が多いなかで、行政の発行する子育て情報誌だけでは、その多様なニーズを満たすのに限界があります。</p> <p>松戸に引っ越してまだ知人がいない時、頼るのは身近な子育て情報であり、その必要性はアンケート調査からも読み取れました。また II 化が進む現代においても、持ち運びの便利な紙ベースの情報誌は便利で、まだまだ必要だ、との声も寄せられました。</p> <p>子育てにおいて最も大切なこと——それは、人と人とのつながりだと私たちは考えます。子育てを支えてくれる行政や民間のサービス、サークル活動などを通じて安心できるつながりができれば、きっと豊かで幸せな子育ての手助けとなることでしょう。</p> <p>『まつど子育て・孫育てガイドブック』の継続的な発行は、そんな「つながり」の一助となるとともに、将来的には、松戸の子育て支援ネットワークの推進に向けて、大きな力になると考えています。</p> <p>また、『まつど子育て・孫育てガイドブック』は、メンバーが多世代にわたっているため（20代～60代）、子育てを一通り終えた子育て体験者からの視点と、子育てをスタートさせたばかりの若い世代からの新しい視点を上手くミックスした内容が期待できます。そのため、多世代にわたる多くの市民読者の共感を得られることと思います。</p>
<p>2. 申請理由</p>	<p>子育ての情報は刻々と変わります。新しい病院ができたかと思うと、いつの間にか閉院していたり、新たに母親になった人が自分たちに合った形の育児サークルを立ち上げていたりします。旬で正しい情報を発信し続けることは、市民の手で作上げるガイドブックならではのことだと思えます。生きた情報を発信するために、『まつど子育て・孫育てガイドブック』第二号以降を発行し続けることは必要です。</p> <p>しかし、『まつど子育て・孫育てガイドブック』は平成 19 年度末（2008 年 3 月）に第一号を 600 部発行し、内 400 部を一部あたり 200 円で販売する予定なのですが、400 部を完売してなんとか収支が合う予算立てであるため、現状は赤字です。</p> <p>第一号での経験や読者の声などを踏まえ、さらに発展した形の第 2 号を出版していく準備期間として、平成 20 年度は大変重要だと考えています。なぜなら、号を重ねていくほど、より市民読者のニーズに応えた本ができあがっていくと考えているからです。</p> <p>今後の長期的な活動の足がかりとして、ぜひとも平成 20 年度の私たちの活動をご支援いただきたく、お願い申し上げます。</p>

<p>3. 事業の内容、 実施方法、 スケジュール</p>	<p>この事業は、「まつど子育て・孫育てガイドブック」編集プロジェクト会員が、松戸市内の子育てを支えてくれる行政や民間のサービス、及びサークル活動の方々に情報提供などの協力をいただきながら、松戸市内のあらゆる場所で、子育て真っ最中の両親及び、祖父母などを対象に、本音の、私たちが大切だと考える子育ての情報を、少しでも多くの方に（できれば第一号の部数よりも多く）手にとってもらえるよう行なっていきます。</p> <p>実施にあたっては、『まつど子育て・孫育てガイドブック』第一号販売網拡大のための通信費が最低限必要となってきます。また必要に応じて、ちらしなどの印刷費も必要です。多くの方の目にとまる本、という性質上、編集スタッフの意識や技術のスキルアップのために研修を行なう必要があり、随時研修を行なう予定です。</p> <p>平成20年度は主に、『まつど子育て・孫育てガイドブック』第一号の、販売網の拡大と第二号出版に向けての調査及び取材などが中心事項となります。実施スケジュールは以下のように考えています。</p> <p>2008年4月～10月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「まつど子育て・孫育てガイドブック」第一号（以下第一号）の販売及び配布地域の拡大。 ・ スタッフ研修会（2～3回程） ・ 第一号アンケート（冊子に差し込み予定）などの意見をもとに、第二号の企画・構成をする <p>11月～2009年2月</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 引き続き販売網の拡大。 ・ スタッフ研修会（1～2回程） ・ 第二号のページ構成を練り上げる。各ページの担当を決める。 ・ 第二号広告掲載の依頼・募集 <p>3月～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第二号の取材、編集作業を始める。
<p>4. 事業の成果と 将来展望</p>	<p>事業成果： 市内の子育てサポート団体情報を一冊にまとめることによって、利用者を増やし、地域での子育てサポート活動がより活性化され、子育て中の市民ネットワークが更に広がると思われます。</p> <p>また実験的な第一号に寄せられる意見によって、第二号はさらに進化した内容が期待でき、販売網も拡大します。</p> <p>将来展望： より決め細やかな、子育て中の市民読者の気持ちに沿った内容の本の製作をしていきます。集まった子育て世代の生の声をデータベース化し、今後の松戸の子育て環境に役立てていきます。助成金がなくなった後も、第一号、第二号の実績を元に、広告主との長期契約や会費、協賛金などを集めることによって、自立・安定した出版体制をつくっていきます。</p>

(第6条関係)

事業予算計画書

【収入】

	(自己資金)	金額	積算内訳
申請者	年会費 寄付金	18,000 円	@14人*1,000 円 4,000 円
	自己資金合計 (a)	18,000 円	
市	助成金申請額 (b)	100,000 円	
	収入合計 (c) (a+b)	118,000 円	

【助成金申請額 (b) チェック項目】

1. 対象となる経費 (d) 欄の 90%以内
2. 1事業あたり 10万円以内

【支出】

	項目	金額	積算内訳
交付対象経費	通信費	20,000 円	アンケート送付 250件*80円
	報償費	20,000 円	講師謝金他 (年3~5回)
	委託料	30,000 円	コラム執筆原稿料
	消耗品費	25,000 円	PCインク代、 アンケート用紙代ほか
	印刷製本費	15,000 円	アンケート等の印刷代ほか
	使用料	8,000 円	会議場使用料
		対象となる経費合計額 (d)	118,000 円
その他	スタッフ飲食費用	0 円	
	その他経費合計額 (e)	0 円	
	事業費 (f) (d+e)	118,000 円	

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。

事業計画書

<p>1. 事業の目的と効果 課題の現状</p>	<p>1. 働きたい女性の就労を応援する。 2. 働きたい女性が自己決定できるようにサポートする。 3. ジェンダーの視点に立ち女性の生き方、仕事について考える。 4. 働きたい女性と共に考え支え合う場を松戸に作る。 5. 自らもエンパワーメントする。</p> <p>再就職を望む女性の家事・育児・介護などとの両立が困難な実情がある。</p>
<p>2. 申請理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 諸々の困難な実情のなかで再就職をするために、周囲の協力体制をどうやって生み出すかを家族を巻き込んで考える機会をつくる。 ・ 男女共同参画の視点で女性の再就職についてお話をしてくださる講師を招いて講演会を実施する。
<p>3. 事業の内容 実施方法 スケジュール</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 働きたい女性とその家族（夫、子ども）を対象に、講演会を開きグループワークを加える。 ・ 年1回程度家族が参加可能な夏休みを想定している。 ・ 夏休み親子教室の形式で参加しやすくする。 テーマ「 母、妻が働くってなに？ ～家族で出来る協力体制を考えよう～ 」 子どもが楽しくいっしょに参加できるように工作をひとつ（例、ダンボールを利用した家族のメッセージボード作り）取り入れ、持ち帰って家族のコミュニケーション作りに役立ててもらおう。 ・ 会場は、地域に密着し、女性の活動の拠点である「ゆうまっど」を予定している。 ・ 親子で20組（40名）・時間は2～2.5時間を計画。
<p>4. 事業の成果と 将来展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 女性が働きやすい家庭環境を作るきっかけになり、無理なく再就職でき家族の自立も図れる。 ・ ライフ・ワーク・バランスのとれた社会の実現に寄与する。 ・ この講座をきっかけに、その成果を活用して継続的に、家族を巻き込んだ就労支援事業を展開して行きたい。

(第6条関係)

事業の予算計画書

【収入】

申請者	(自己資金)	金額	積算内訳
	19年度会費収入	18,000円	支出項目の内 予備費から充当
	自己資金合計 (a)	18,000円	
市	助成金申請額 (b)	100,000円	
	収入合計 (c) (a+b)	118,000円	

【助成金申請額 (b) チェック項目】

1. 対象となる経費 (d) 欄の90%以内
2. 1事業あたり10万円以内

【支出】

交付対象経費	項目	金額	積算内訳
	女性の再就職支援 講演会謝礼金	70,000円	
印刷製本費 通信費	12,000円 10,000円	472・1000枚×10円 資料200枚×10円 125枚×80円	
消耗品費	20,000円	472・資料専用紙、封筒 ポト作材料費	
	対象となる経費合計額 (d)	112,000円	
その他	スタッフ飲食費用	1,000円	
	事業活動費	5,000円	講師交通費 当日会場設営費(生花会社)
	その他経費合計額 (e)	6,000円	
	事業費 (f) (d+e)	118,000円	

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。

採択されなかった事業

※プレゼンテーションの順

N O	団体名	事業名	助成金額	審査結果意見
1	特定非営利活動法人 循環型社会研究会	環境活動体験プログラム事業	100, 000	【否の理由】 松戸の環境団体との連携及び事業の実現可能性について確証が得られなかった。
2	特定非営利活動法人 ふれあいネットまつど	「みんな揃って楽しい バスツアー」事業	99, 000	【否の理由】 自主財源や行政補助で同様の事業が実施されている現状があり、本制度で当該事業に助成する必要性は低いと判断した。
3	生ごみ資源化を考える会	生ごみ資源化に関する 冊子づくり事業	67, 500	【否の理由】 冊子づくりの有効性について確証が得られなかった。 冊子づくりの先の事業化に向けた展開を期待する。

事業計画書

<p>1. 事業の目的と効果 課題の現状</p>	<p>持続可能な社会づくりには、環境問題の教育啓発により環境意識を高める必要がありますが、それが行動に結びつかなければ一步も前に進みません。重要なことは環境意識を十分に持った上で、地域において主体的に環境活動に参画することにあります。市内には環境市民活動団体が多くあり、広く認知されている団体もありますが、なかなか活動に参加してもらえず、会員が増えないとの問題を抱えています。環境活動体験プログラムは地域における環境問題の解決に向けての一般市民の主体的な取り組みを推進するために、市内の環境活動団体とともに、その活動を一時的に体験することで理解と興味を喚起することを目的とします。その効果は以下の通りです。</p> <p>*環境意識があっても、なかなか行動に踏み出せない一般市民の背中を押す。 *実体験の中で活動の理解及び会員との交流が深まり、入会のハードルが低くなる。 *環境NPO活動団体への参画者が増えて市内の環境活動が活発になる。</p>
<p>2. 申請理由</p>	<p>*循環型社会研究会は2002年NPOとして登記して以来、各地域での環境の取り組みについて、事例研究や政策提言をしています。これらのノウハウを活用し、松戸市における環境NPO団体の活性化を支援することが申請の理由です。</p> <p>*市民フォーラムの開催、体験講座の開催、ワークショップなどの一般市民向けの広報、イベントを展開し、具体的に松戸市の環境NPO活動団体の会員数をアップし活性化させるミッションにおいて、助成金を最大限活用します。</p>
<p>3. 事業の内容、 実施方法、 スケジュール</p>	<p>市民フォーラムでは、地域における環境問題をテーマとします。体験講座では各環境NPO団体が一堂に集まり、活動の説明をし、体験参加者を募ります。体験は2ヶ月の期間3日以上を原則とします。団体と参加者はその体験の反省会をして体験講座を終了します。参加者にとっては入会のきっかけとなり、団体にとっては新たな人からの課題を探ることが出来ます。年度末、体験参加者を中心に各テーマ毎にワークショップを開き市内の環境活動のあり方を報告書にまとめます。その過程で、環境NPO活動団体の活性化が促され、同時に市内の環境活動が活発になると期待されます。</p> <p>☆具体的な年度実行計画を策定<4月～5月></p> <p>①市民フォーラム(1回) <7月> ※会場:サポートセンター大会議室 ②体験講座(環境版Let's体験) <8・9月の2ヶ月間の内3日以上体験> ※サポートセンターとの協働検討 ③ワークショップ(1回) <11月> ※会場:サポートセンター大会議室 ④体験活動報告発表 <3月> ※NPO見本市での発表会を検討</p> <p>☆広報活動 イベント開催告知と報告書の配布</p>
<p>4. 事業の成果と 将来展望</p>	<p>*市内の環境NPO活動団体を一堂に会することで環境活動の合意形成を図り、松戸市としての持続可能な社会づくりを活動団体が一致団結して取り組みます。</p> <p>*サポート資源提供システムと連携し、企業の社会貢献プログラムとの協働を推進することで環境NPO活動団体活性化のための恒例の年間プログラムを目指します。</p>

(第6条関係)

事業の予算計画書

【収入】

申請者	(自己資金)	金額	積算内訳
	会費収入	50,000 円	松戸支部としての会費収入
寄付金	72,560 円		
	自己資金合計 (a)	122,560 円	
市	助成金申請額 (b)	100,000 円	
	収入合計 (c) (a+b)	222,560 円	

【助成金申請額 (b) チェック項目】

1. 対象となる経費 (d) 欄の90%以内
2. 1事業あたり10万円以内

【支出】

	項目	金額	積算内訳
交付対象経費	諸謝金	60,000 円	講師及びパネリスト、ファシリテーター @20,000×3回
	広報チラシの印刷費	60,000 円	@20×1千部×3回
	チラシ作成委託料	10,000 円	
	報告書作成委託料	30,000 円	
	会場使用料	7,560 円	サポートセンター大会議室 @630×4h×3回
		対象となる経費合計額 (d)	167,560 円
その他	スタッフの通信交通費	18,000 円	@1,000×3名×6回
	スタッフの事業活動報酬	27,000 円	@500×3h×3名×6回
	諸雑費	10,000 円	
		その他経費合計額 (e)	55,000 円
	事業費 (f) (d+e)	222,560 円	

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。

「みんな揃って楽しいバスツアー」事業の概要

<p>1. 事業の目的と効果 課題の現状</p>	<p>1. 課題の現状</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 高齢者、障害者（児）の中には様々な障害を抱えているため、移動が困難だということ、ともすれば自宅で閉じこもりになりがちです。 ② 高齢になっても、障害を負っても、その人がその人らしく尊厳を持って生活をしていきたい、ときには楽しみごともしたいという願いを持つことは当たり前の権利です。 ③ 介護保険や障害者自立支援法に基づくサービスは、必要最低限の日常生活を支援することを目的としているため、食事、入浴、排泄のお世話が中心となります。 ④ その人の生きがいにも通じる願いをかなえられるような生活支援や温かい心の交流を含めた様々な援助が、今重要になっています。 <p>2. 事業の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 移動困難なため、閉じこもりがちな高齢者や障害者（児）のみなさんにお出かけの機会を提供する。 ② 一人ではなく、みんなで、しかも車椅子のままでも参加できる、普段できない「季節の行楽」を楽しむ小旅行（日帰りバスツアー）の機会を提供する。 ③ 一人での移動が困難な方を支援する市民ボランティアの参加を募り、実行委員会を作って実施することで、市民どうしの楽しい「心の交流」の機会を提供する。 <p>3. 事業の効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 高齢者や障害者（児）の方には、普段できないバスツアーに参加することを通じて、様々な援助を活用しながらお出かけすること、社会参加をすること、様々な市民と交流することの「楽しさ」を実感してもらおう。 ② 市民に広く呼びかけることで、これまで障害をもった方たちと触れ合う機会がなかったり、車椅子を介助することを知らなかった方が、このバスツアーに参加するなかで、少しでもボランティア活動に関心を持ってもらえるようになる。 ③ この市民の交流の機会を通じて、松戸市を様々な市民が「困ったときはお互いさま」「みんなでたすけあい、支えあう」ふれあいの気持ちあふれる街にしていこうと、みんなが考え行動するようになっていく一助になると確信しています。
<p>2. 申請理由</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 車椅子の方も気兼ねなく参加できるようにするため、リフト付バスを借りる。 2. バスツアーの費用は原則として、参加者負担とするが、リフト付のため高くなるバスの費用のうち、「リフト」相当部分の助成をお願いする。 3. 高齢者や障害者のおかれた社会的経済的状況から、上記参加者負担を高くしないで、誰もが参加しやすいようにするため。この助成をお願いしたい。

<p>3. 事業の内容、実施方法、スケジュール</p>	<p>1. 事業の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 移動困難な方を主対象とした、リフト付バスを使用する「日帰りバスツアー」。 ② 一人での参加が困難な方、車椅子の方も参加できるようにするため、市民ボランティアを募集し、介助付「お出かけレクリエーション活動」の性格を持つ「みんな揃って楽しいバスツアー」。 ③ 行き先、実施日時、参加費用等の計画は、4～9月実施を目安として実行委員会で検討し、決定する。 <p>2. 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 事務局を本会とする実行委員会を結成する。 ② 実行委員会は、松戸市広報により募集。障害者団体にも呼びかけて、団体、個人で結成する。 ③ 行き先等実施計画については、これまでふれあいネットまつどが実施してきた経験を活かして実行委員会で検討作成する。 ④ 実施計画に基づき、松戸市広報等で参加者を募集する。 ⑤ 案内チラシ、ポスターを作成し、全地区社協、市民センターに配置し、参加者を募集する。 ⑥ 介助ボランティア参加者には、事前に車椅子介助研修会を実施し、この研修会出席を参加の条件とする。 ⑦ 移動困難な方に対しては、集合場所までの送迎も実行委員会として行なう。 ⑧ 実施計画作成に当っては、下見等を綿密に行い、安全性に配慮し、損害保険の加入も行なう。 <p>3. スケジュール (5月下旬実施の場合)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 1月15日発行松戸市広報で実行委員会委員募集。 ② 3月末までに実施計画を作成する。 ③ 4月1日発行松戸市広報で参加者を募集。同時にチラシ・ポスターを上記計画に基づき配布。 ④ 4月下旬～5月上旬に介助ボランティア研修の実施。 ⑤ 5月下旬実施。
<p>4. 事業の成果と将来展望</p>	<ul style="list-style-type: none"> 1. 移動困難な方が、市民と交流しながらバスで楽しいお出かけ小旅行が気軽にできる。 2. この取り組みを通じ、閉じこもりがちな移動困難な方たちがお楽しみや社会参加で外出の機会を多く持てるように、市民の力と行政が協働していける方向性を切り開く端緒となると、確信しています。

(第6条関係)

事業の予算計画書

【収入】

	(自己資金)	金額	積算内訳
申請者	参加費1人=4,000円 (昼食代含む) 参加者40人	160,000円	
	自己資金合計(a)	160,000円	
市	助成金申請額(b)	99,000円	
	収入合計(c)(a+b)	259,000円	

【助成金申請額(b)チェック項目】

1. 対象となる経費(d)欄の90%以内
2. 1事業あたり10万円以内

【支出】

	項目	金額	積算内訳
交付対象経費	①通常の大型観光バスとリフト付 大型観光バスの差額	50,000円	平成18年実績ベース
	②実行委員会事務経費	30,000円	会議1回2,000円×5回 チラシ・ポスター作成費用 (20,000円)
	③実行委員会下見費用	20,000円	1人4,000円×5人
	④介助ボランティア研修会費用	10,000円	1人500円×20人
	対象となる経費合計額(d)	110,000円	
その他	スタッフ飲食費用 バス貸上げ費用(通常)	100,000円	大型観光バス料
	昼食費用	49,000円	40人分の昼食代
	その他経費合計額(e)	149,000円	
	事業費(f)(d+e)	259,000円	

生ごみ資源化を考える会 事業計画書

1、 事業の目的と効果 課題の現状

「松戸市における生ごみ資源化への提言（仮称）」という冊子をつくり、広く市民・企業・行政に配布して、松戸市で生ごみ資源化事業へ踏み出すきっかけにしていきたい。具体的な生ごみ資源化の実践例、成功例を示すとともに、松戸市での生ごみ資源化の可能性を見つける。各家庭、各事業所における生ごみ資源化の取組み、またはそための補助金制度はあるが、これで処理される生ごみは、松戸市で出される生ごみの1～2%でしかない。ほとんどが焼却されている。

2、 申請理由

3年間の活動の中では、学習会、連続講座などあまり費用を必要としない活動が主であった。講師などもほぼボランティアでの協力により学習会が行なわれてきた。見学会は、松戸市の環境計画課、環境業務課との協働事業で行なわれてきた。会の活動経費は会費でまかなっているが、事務的経費や、わずかな謝礼金に支出されるのみで、冊子や広報紙をつくる余裕が無い。来年度に今までの成果をまとめ、市内の生ごみ資源化に関わって欲しい関係者を訪問してその可能性をまとめるための費用が必要になっている。会費の値上げや収益事業が難しい中で、活動助成金を必要としている。

3、 事業の内容、実施方法、スケジュール

- ① 各月の定例会の中で冊子の編集会議を行なう。（4月～1月）
- ② 3年間の学習、見学の成果をまとめる。（4月～6月）
- ③ 生ごみ資源化に係わりのある団体に話を聞きに行く。（6月～10月）
 - ・ 農業関係者（農協、無農薬研究会など）
 - ・ 商業関係者（商工会議所、商店会など）
 - ・ 消費者団体（消費者の会、消費モニターなど）
 - ・ 学校関係者（小/中学校給食など）
 - ・ 資源回収業者（松戸市の収集委託業者など）
 - ・ みどり（花壇づくり団体・緑のボランティアなど）
- ④ 市の担当課と協働で学習会・見学会を行なう。（7月・10月）
- ⑤ 生ごみ資源化小冊子を作成し配布する。（2月）
- ⑥ 生ごみ資源化にかんする関係者の交流会をおこなう（3月）。

4、 事業の成果と将来の展望

松戸市の焼却されている生ごみを資源化するための、より成功の可能性の高い方法について見つけること。単に行政のごみ処理計画にゆだねるだけでなく、生ごみ資源化事業に係わることのできる、いろいろな方面の団体の交流を始める事ができれば、行政と市民・企業の協働事業で生ごみ資源化が実施できるようになる。

(第6条関係)

事業の予算計画書

【収入】

申請者	(自己資金)	金額	積算内訳
			20,000円 500円
	自己資金合計(a)	20,500 20,000円	
市	助成金申請額(b)	67,500 68,000円	
	収入合計(c)(a+b)	88,000円	

【助成金申請額(b)チェック項目】

1. 対象となる経費(d)欄の90%以内
2. 1事業あたり10万円以内

【支出】

交付対象経費	項目	金額	積算内訳
		冊子作成費	60,000円
	会場費	5,000円	
	報償費	10,000円	
	対象となる経費合計額(d)	75,000円	
その他	スタッフ飲食費用	3,000円	
	運営費	10,000 5,000 5,000円	
	その他経費合計額(e)	13,000 5,000円	
	事業費(f)(d+e)	88,000円	

※ 対象となる経費、対象とならない経費については、募集要項を参考にして下さい。